婦人と新社會

山田わか主筆

十月號

經濟國難に直面して

女性の機械化を排す

醫學上の結婚

形式を無視することが是か

三十有餘年前

前號の反響

國本破壞の第一步

昭和四年十月一日發行　第百拾五號　毎月一回一日發行

昭和四年九月二十七日印刷納本

東京市…婦人と新社會社…發行所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

經濟國難に直面して

最近の東京市統計課の調査によりますと、人口的に見た大東京の發展振りは實に目ざましいもので、大東京市區内の人口は實に四百九十萬人になつて居ります。

世界中で一番人口の多い都市はニューヨークで、これは六百一萬七千人、その次が東京の四百九十萬人、そして、その次はロンドンの四百六十萬五千人であります。人口的には我が東京に世界で第二位にあります。國として考へて見ましても、我が國が世界の五大國と肩をならべてゐると云ふことは皆様が御承知の通りです。

世界の列强と肩をならべて、この地球上の全人類の問題に付て、考へたり、方針を立てたりする責任を我が國は負ふて居りますので、何にか世界的の問題が起る度毎に、我が國は代表者を出して世界の列强と相談をして居ります。

つまり、勞働問題、經濟問題、軍備の問題、平和の問題などに付ての國際會議に一々我が國は代表者を出して居ります。

國際的にはこんなに立派な大日本帝國ではありますが、併し、我が國は今や經濟國難に陷つて居ります。表玄關は立派でも内部が火の車の狀態であることは誠に恥かしくもあり心苦しい極みでもあります。

そこで此の經濟國難を突破するにはどうすればよいか？

よその國の頭の蠅を追ふ資格ある國民が自分の國の頭の蠅を追へない理由はない。我が日本國民はキット自分の頭の蠅を追ふことが出來る。この經濟國難を突破することが出來る。國民生活の立直しをすることが出來ると私は信じますが、併し、それには、先づ、私共國民の一人々々が其の覺悟を持たなくてはならない。殊に、主婦がそのつもりにならなければならない、國の問題は家庭の問題であり、家庭の問題は主婦の問題でありますから。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

女性の機械化を排す

婦人問題が起つて以來今日まで、否、今日も猶主張されてゐる婦人論は全然消極的婦人論であります。これに反して、私共は積極的婦人論を建設しなければならない。消極的婦人論とは男女の差別を無視し、男女を同性質のものと見做し、あらゆる方面に於ける機會均等を主張するものであるに反して、積極的婦人論は男女の根本的差異を基礎とし、そして、生物學と心理學の敎へにピツタリ符合するものであります。

この社會組織に於ける婦人の本當の位置の問題は根本的に人生哲學に準據するものであります。そして、もし、此の人生が機械的事實として見られるならば男女は別々な單位で、男女の間に何等のつながりはない。男女は全く別々に孤立した單位と見なければなりません。そして、さう見るならば、婦人の生理的心理的の特徴を無視して、男子と全然同じ社會上の位置をあらゆる方面に於て請求するのは最も至當なことであります。

併しながら、もし、私共が全體としての生活、そのうちには各部分が他の部分に、內部的の目的

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

によつて、、、、つながり、同一の目的のために共働するものと見るならば、云ひかへれば、もし、私共が此の人生を外側からでなく內側から眺めて見るならば、男性女性は重要なる一ツの區分である。共働して同一の目的に到達する使命を持つてゐる。

自然の計畫には或る一ツの目的があると信ずるならば、其の自然が造つて置いた凡ての區別は、皆共れ〴〵に別な役目を持つものと考へなければならない。それ〴〵別な位置にあつて、併し、同一の目的のために、全體に奉仕することに於て、その區別の最も充實した發展を期さなければならない。それが積極的婦人論であります。

○

男女平等を主張する思想家によつて今日の社會生活に誘導された主もなる誤まりは男子の仕事と女子の仕事とを區別する必要はないと云ふことです。彼等の無性別な考へ方からは其處に到達するのは當然です。

經濟的及び文化的の如何なる部門にでも婦人は進出して行く權利があると云ふのです。軍事にまでも進出すべきだと云ふ彼等の主張は露國に於ては實現しました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

露國内の一部の婦人は、軍務に於て男子と同等の權利を獲得することを要求してゐたが、其の要求は今度部分的に承認されることになり、露國政府は去る八月九日發表していはく「一定數の女子に對しては、或る種の技術の訓練を目的とする陸軍の諸學校に入學を許可すべし。但し、右の女子は男子と同等なる軍規に服すべきこと、なほ、出產或は其の他の事故に關しても、何等休暇又は其の他の特權を與ふることなかるべし」と。

男性模倣の惡思想、女性侮辱、人間虐待も此處迄行けば徹底してゐます。

自然法を無視し、人間の小さな理くつに囚はれてゐる露國のやりそうなことですが、併し、「出產しても休暇はやらぬ」と、宣言してもしなくても、お產をした當時はどうすることも出來ない。但し、母も子も死なせてしまうには、其れは好都合な方法です。

斯くの如きは女性侮辱、人間虐待の甚しいものでありますが、併し、女性のたましい、婦人の特徴を無駄にしてゐる事實は今日の文明各國に於て行はれてゐます。

工場や授產場や其の他の勞働及び職業界に無數の婦人が侵入して行くことは、婦人に最もふさはしい、そして、今後の文明に無くてならない仕事の方面から有意な婦人を引きぬいてしまうことに

なります。

少年及び青年の墮落の主もなる原因の一ッは、家庭に於て、適當な注意を受けることが出來なかつたからであります。家庭のうちに、子女の上に用ひらるべき母の力が他の方面に用ひられたことに原因するのです。多くの賣笑婦を取り扱つた訓戒師の話に『これ等の娘達も、もし彼女達の母親から適當な注意を受けることが出來たのであつたならば決して賣笑婦にはならなかつたであろう。注意深い母親を持つてゐたと云ふ娘は一萬人のうちに一人位ひしかないと云ふことは大いに注意すべきことだ』と云ふのがあります。

又、或る社會事業家も、今日の道德的の墮落は主もに家庭生活の破壞にあると宣言してゐます。

○

婦人も男子と同種類の仕事に從事せよと云ふ主張に反對して、私は、婦人には家庭の内外に非常に廣い活動範圍があることを主張します。婦人は家庭内に於て、社會の利益になるように彼女の持つてゐる最も自然な性質を働かすことが出來ます。

現代は、十九世紀の特徵であつた機械的文明から徐々と脫出しつゝあります。科學の進步、及び

科學を生活に應用することが我々の生活をより人間的に爲し得ないと云ふことを有識者は徐々と認め始めました。

今日の新らしい文化の發達のうちに、世界の人類が婦人の補助を必要とするのは此處であることも先覺者は氣付いてゐます。が、婦人が婦人自身の特徴を無視して男子と同じ方面に進出して行けば行く程女性にヴァイタルな使命を怠ることになると云ふことは止むを得ません。此處に私共は今までの婦人論者が淺薄な唯物的な哲學に毒されてゐることを明瞭に見ることが出來ます。

そして、それは、男子とは異つたものとしての婦人が社會のために爲し得る凡ての婦人の仕事を適當に評價する積極的概念を持たないからであります。天文學者として、産業家として、其の外あらゆる專門家としての仕事の價値を高く見積りすぎて、婦人の婦人らしい仕事の價値を見ることが出來なかつたからです。

私共が今日必要とする處のものは、今日の機械的な餘まりに男性化した文明の代りに、より精神的より女性的な文化に資する勢力であります。そして、此の一大勢力は婦人が婦人の天職を行ふことであります。今日の物質文明を精神文明に進める第一步は、人生の凡ての機械化と標準化に反對

しての運動で無くてはならない。今、私共が直面してゐるたましいのない單調な機械的の生活の型を打破しなければならない。

けれども、男女平等主義の婦人論は、此の危險の存在を認めないか、或ひは、それに對抗する特種な女性の力を認めてゐない。

現下の最も必要な仕事は、人格を沒却することになる前述の機械化乃至男性化に對抗すべく、凡ての婦人を動員することである。そして、さうするためには婦人の正しい積極的な理想を造ることが必要です。

○

今日までの婦人論を承諾するならば、私共は、到底、此の有効な女軍を動かすことは出來ない。なぜなら、それは、此の機械的社會に於て、男子と同じように働くように指導されて、たましいの無い無人格な大きな關係の中に彼女達を沒入させてしまうのであるから、彼女達は女性のための女軍の味方になることは出來ない。

舊い家族制度は婦人の仕事をごく狹い範圍に限つてゐました。けれども、今、來らんとする新ら

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

しい時代には婦人の仕事は廣い範圍に擴められる。又、擴められなければならない。が、それは婦人獨特の性質を持つたものであることは云ふまでもない。

今日までの婦人は男子によつて設定された機械的社會秩序のタイラニーに彼女自身を服從させてゐるより外に仕方がなかつた。そして、男女平等主義の婦人論は其の服從の位置から脫しようとして、もう一ツの服從の位置に多くの若い女性を飛び込ませました。即ち、家庭内の男子の壓制から逃れようとして社會の男子の壓制に服從してしまいました。そこでこの家庭的の及び社會的の男子の壓制から女性を脫出せしむる先づ第一步は女性的且つ家庭的仕事と云ふものを適當に評價することと、そして、此の仕事を科學的に研究し、相當に報酬し且つ社會的に價値付けることであります。なほ、其の上に、婦人に適した仕事の範圍を擴張することであります。たとへば、藝術的の手仕事、屋内の裝飾、園藝、及び、今はまだ不充分に發達してゐる社會事業の諸方面など。

とにかく、今、差し當つての最も重要なる問題は私共が消極的婦人論即ち男性模倣の婦人論を排して積極的婦人論即ち女性の特徵を把握した婦人主義に出立し婦人の健實な理想を建設しなければなりません。それがハツキリするならば婦人の特徵的活動範圍も自ら明らかになつてまゐります。

醫學上の結婚

竹内茂代

結婚とは世間並に云へば三々九度の杯を交すことであり、法律上からは戸籍吏に届け出でゝ戸籍面の訂正された時でありますが、醫學上では男女相交るを結婚と申ます。入籍や儀式でありません。

昔神様が吾が餘れるものを以て汝の足らざるところを補ふと云はれて夫婦が出來たと云はれますのは醫學上の結婚であります。完成した男と女と結婚によつて結合されて、そこに結果するものは種族保存であります。

如何に入籍しても三々九度の杯を百度擧げても種族保存にはなり得ないのです。此種族保存の作用は、父と母から各只一個の細胞を與へるのみで、其後整然たる細胞分裂によつて五官其他、骨、筋肉、皮膚、内臓諸臟器等を生じ、母の胎内に於て、成長せしめられ、外界に出されても生存し得る樣になつて始めて分娩機轉によつて此世に送り出さるゝのであります。其期間は二百八十日にて始めは顯微鏡の力でやうやう見得る樣な小さいものから三千グラムの胎兒と其附屬物（胎盤、羊水、臍帶等）の一切は出來るのであります。其原料は母が食料として攝取した成分から取るのであります。

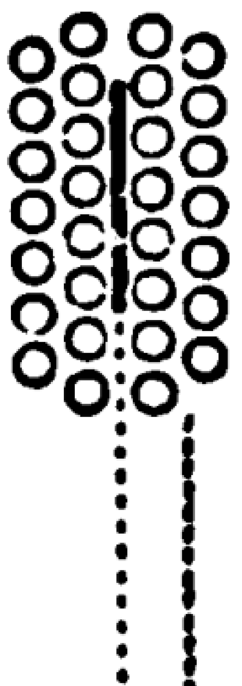
それ故完全な細胞は完全な細胞からのみ分裂さるゝもので其分裂增殖の材料となる可き食料は質に於ても量に於ても適當である場合が健康

を保たれよき小兒を得るのであります。

結婚してはならぬ病

結婚に依て病を起し、結婚のために相手の人に病を傳染せしめ、又分娩不可能の體の人、及子供に移り行く病氣を持つ人は結婚してはならないのであります。如何なるものが左樣の結果になるかと申ますと最も多く見らるゝ例は結核、梅毒、淋毒、畸形であります。

結核病は體內如何なる臟器にも現はれます。最多くは肺結核でありますが其他、肋膜炎、腹膜炎、腦膜炎、瘰癧、關節炎、中耳炎、カリエス、狼瘡、卵巢結核、睾丸結核、膀胱、腎臟結核等として現はれます。年齡も生後間もない時から老年に至るまで又男女性別の區別なく現はれる固有の黴菌による傳染病であります。然し此病は强い體には傳染しませんが弱い體に傳染し、又非常に擴く存在しますが實によく治る病であります。結婚について注意す可きことは一度結核病に罹つた人は眞に完全に治癒したか、否か、をよく確める可きであります。もう大抵よからふとか、何年前に病んだとかで定めてはなりません。結核は實に慢性病の最も長い病で其癒ると云ふのは



結核菌を類上皮細胞が包圍して其間に石灰分が沈着し丁度堤防の石をセメントで固める樣にして治るのですから、よく固らない時は直に此堤防は崩壞して內に藏された結核菌は再び猛威を振ふ事になり玆に病の再發を見るのであります

結婚は精神上肉體上非常な變化を起す上に姙娠いたしますと胎兒は成長に必要の各養素石灰分を多量に要求します。母親の骨でも齒でも取る位ですから石灰分の不足を告げた時は忽ち母

體の持つ如何なる場所からでも奪ふことゝなり忽ち結核再發となるのであります。

實例に照して見ましても夫は一度喀血し又は肋膜炎を病んで治つたつもりで妻を迎へ、日ならずして再び發し喀血を起し、妻は姙娠中其看護に從ひ忽ち傳染し、妻の臨月の頃は夫は枕も上らず妻も咳嗽に苦しみ早産を起し、子供は腦膜炎にて死し夫妻枕を並べて病床に呻吟し、たとへ其夫は相當教育を受けた人と云へども長期の病に失職し特別の餘融のない限り玆に物質の窮乏を伴ひ眼も當てられぬ不幸の狀況に陷る例は決して少くありません。如何なる程度に治つたら結婚してよいかは醫師につきレントゲン線其外あらゆる方法で確の診斷をしてもらひ、全く死火山の如く治つた場合は差支ありません。

梅毒　は昔の様に鼻の落ちた人や疹の現はれた人は殆ど見られませんがかなり深刻に暗を這ふ盜賊の様に人の血に肉に內臟に骨に潜入して存在し、たま／＼現はるゝ時は感冒と神經衰弱と合同して來たかの如く或は松澤病院に入らねばならぬ形として現はれ、有爲の天才も學者も中年にして廢物となり、加之配偶者には殆ど例外なく傳染せしめ胎兒に移行して流産早産となり或は病弱の子として生れ、母も子も一方ならざる苦痛を味ひ、成長しても完全の人となり得ずして常に人後に立ちて世を咀ひ不遇を託つ不幸の人となり終るのであります。

これ亦（特効藥があつて完全の治療を受くれば全治するのですから）全治の上ならでは結婚するものでないことを知つておかねばならぬのであります。

淋毒　は梅毒と共に性病と云ひ、不潔の交りから傳染する病であつて此病も一度病んでは仲々全治し難いものであります。此病は初期に急

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

性症狀を起し、非常の苦痛を伴ひますが苦痛の去つた後は、多くの人は菌は存在しても鎭靜して居りますから、全治せしものと思ひ、結婚します。淋菌は新しい粘膜に移し植えられると忽ち猛威をふるふものであるから其配偶者に傳染して苦痛を嘗め、剩へ不姙症に陷る場合が多いのです。

淋毒も梅毒も共に正しい一夫一婦の家庭には入る可からざる病であります。斯樣の病は常に不淨の地にあるのでわれ等婦人は人類幸福のため其撲滅のため盡さなければならぬ問題であります。

此病も治り得る病ではありますが、性病は根治までには莫大の費用と時間と耐忍とを要するために根治せずに放任され易いのであります。正しい結婚をして幸福を求めらるゝ人は以上の諸點を留意して結婚に際して相互に身體檢査の診斷書を取換せて後にする迄にすべての社會が自覺し左樣の病のある人とは結婚せぬだけの婦人に權威がある樣になれば大に撲滅運動に資することゝ思ひます。

體格上の相違

紙面の都合で詳細に述ぶることは出來ませんが、結婚を求むる場合には自分の體格と餘りにかけ離れた人を求むることは將來する分娩に際して困難であることを一言附記しておきます。即ち、兒頭の大さが骨盤の大さより餘りに大きい時は分娩が困難になります。體格の小さい人が偉大なる配偶を求めてよい子孫を求めんとするの傾向がありますが大なる體格の婦人に小なる男子は差支ありませんが餘りに小さい婦人が大きな男子と配するは考へものであります。健康の不平均は夫婦生活を不幸に導く場合が多いものであります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

形式を無視する事が是か

加藤ひさ

二羽の小鳥が庭先きで自由に遊び戯れて居るのを見る時にどうかして彼等の愉快な遊びを徒らに妨げまいとし、一分間でも長く遊ばして置いてやりたいと思ふのと同樣に可愛い我が子がその愛らしい相手を連れて來て無心に遊び戯れて居るのを見れば親がそれを妨げまいとするのは人情の常である。

併し乍らこれは戀心の伴はない時代の子供を指して云ふのであつて、少くとも年頃に成つた子息や娘に對しては單にそう云つて眺めて居る事は親としては間違つて居る。

娘が若い異性と相かたらいそれが除々に戀愛に進んで行くその心の流れを靜かに見詰めては居ても結婚の形に於て二人を結び付けやうとはしないと云ふのが或る近代女流思想家の考へ方である。

密のやうに甘ひ春の野のやうにうるはしい初心の戀愛は世にも貴く、又保護してやりたいものには相違ないが、やがては月日と共にその甘さもゆかしい香りも消えると云ふことはどうすることもできない。

形式に依て束縛させたくない、結婚の形に依て自由を抑へさせたくないと云ふことは、丁度交通係りの警官方が適當の處へ白線を引いてこゝをお通りなさいと指し示して居られるにも拘らずその線外を通らせて子供に負傷させるのと同一であり、又山中に道入つた時比較的安全な路が指し示されて居るにも拘らず其路を避けて行く先きの皆目分らない籔の中に子供を迷ひ込ませるのと同一である。

花はいつ迄も美しく咲いては居ない。けれどもその美しさの終つた時に、その花瓣が落ち雌蕊がしぼんだ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

時に、その雌蕊の根元から小いさな固い實の結ばれて居るのを見た時に私共は歡喜の聲を擧げずには居られない。

人生の花時と云ふものは一年の中の春が花時であるやうに、やうやく一生の四分の一乃至五分の一位ひのものである。殘る四分の三乃至五分の四即ちその果實を樂しむ時代が人生に取つて最も大切でありその幸不幸を大部分支配するものである。この大切な時代をよりよくしやうとするのには矢張り親がその子供の花を樂しむ時代に充分の注意をしてやらなければならないこの美しい戀愛の花を他人にむしり取られないやうに又その花瓣が落ちてしまつた時に花も實もない枯木のやうな人間にならない爲に結婚と云ふ垣を結ぶ必必がある。

眞實の親子兄弟は何故に心から愛着の念を斷つことができないのだらうか。これは一つは生れるとから一緒に居たことゝもう一つにはどうしても切るに切られぬ血緣であると云ふ觀念がさうさせるのではあるまいか。男女の間にしても相手が一生を自分と共にすべき夫であり妻であると思へばこそ心も安らぎ信頼して相愛することができる。其處から精神の安定が得られる。そして、こう云ふ狀態の下に生れる子供は先づ健全に育てられる。

娘や子息が甘い愛戀に醉ふて居るのを見ていつ迄もその甘さに醉はせて置いてやりたいと云ふ親の愛、いつ迄も結婚と云ふ責任の垣を結ふてやらうとしない親の愛は丁度小さな子供が甘いお菓子を喜ぶからと云つて無制限に食べさせて置く親の愛と同一である。子供が胃腸をこはして倒れてからあはてふためいてもう晩い。

自由と云ふ言葉は甘いお酒のやうなもので口ざはりは好いがどうも後の氣持ちが惡い。いはゆる責任觀念の伴はない自由行動ほど社會を毒するものはない。

戀愛の甘さその好しい香が消えた時に結婚の形式に入れられて居ない男女は何處に精神の安住所を求むるのであらうか、先きから先きへ新しい戀を求めて行くのであらうか、それが永久に續くものであらうか。

廣い世の中の一部の人達が戀愛至上主義に共鳴して

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

形式を無視しても大したこともあるまいと見た處で、少くとも社會の風上に立つて多少なりとも物言ふ人の口から戀愛至上説が唱へられ結婚と云ふ形式が輕んぜられることは多くの青年の前途を過まらせるやうなことを思ふ時にそれは寒心に堪へないものである。

眞に相愛する男女は必ず結婚の形式を取るべきである。そして花から結ぶ果實を完全にみのらすべき準備をなすべきである。その形式ないとふやうな戀愛に不眞面目極まるものである。

形式は束縛とも云へる。社會秩序とも云へる。社會に對する禮儀とも云へる。又人間の行動を神聖化する一階段とも云へる。蓋し、形式はその這入る内容の質に依て自らその意味を異にする。

三十有餘年前

何物にか注ぎかけたい精力が手にも足にも頭にも胸にも滿々として、ムヅ／＼として、私をイラダヽせてゐた。

崩れかゝつた舊家――農を業とする――の屋臺骨を其の双肩に擔つて、倒してはならないとうめいてゐる家兄のゲツソリやつれた顔を見た時に、私はたまらなく淋しい氣持ちに襲はれた。そして、兄に對する同情が燃へ上がつて行つた。

恐らく、私の體内にモダ／＼してゐたやり處のなかつた精力が同情の燃料となつたのであらう。

先祖傳來のあちらの山を賣り、こちらの田畑を人手に渡し、殘つた分のいくらか！　せめて其れだけは兄の手に握らせて置かなければ大きな家族の生活を支へることが出來ない。にも拘らず、それさへも、ともすれば、危い狀態に陷らうとしてゐた。村で評判になつてゐる程惠まれた强大な體格、立派な顔にやつれが見

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

へて來たのも無理はなかつた。が、幾分殘つた田畑を兄の手にシツカと握らせて家族の生活を保證するには可なり大きな額の金を要した。

私は自分の持つてゐる實力に付ては考へても見ずに兄の重荷の一半を自分の肩に背負はふと思つた。そして、いよ／＼さうと決心した時に、自分と云ふものに何やら價値が出たような、生き甲斐があるような氣持ちを味はふことが出來た。

○

それまでは、大して苦もなく、と云つて、樂もない生活が、たとへば、空車を廻してゐるような、のれんと腕押しをしてゐるような張り合ひのない生活だつた。無風帶と云つたような無刺戟なだれ切つた僻村の生活に耐へきれなかつたのだつた。

村の内に萬屋の店を持つた次兄の許に町方から嫁が來た。その嫁は三味線に堪能で、夜な／＼私に教へたいと云ひ出した。二三回通つて見た。けれども、私は「こんなことに精力を費すのは無駄なことだ」と思つてやめてしまつた。「百姓が三味線をひくと「田地賣れ山賣れ」と云ふ音がする」と常々祖父が云つた其の音樂の意味とは全く別な氣持ちで私は三味線をかゝへてはゐられなかつた。精力のありつたけを費して意義あるものが外に存在する筈だと思つたからである。

○

兄の重荷の一半を背負はふと決心するや否や、生活に目標が付いた。のれんとの腕押しでなく、自分よりは力强い者との腕押し、乃至、空車でなく、自分には重すぎる車を引いて見やうとする快心を私は味はふことが出來たのだつた。

○

今にしてかへりみれば、其れは無謀な望みであつた。無てつぽうな考へ方だつた。

教育らしい教育も受けず、全然世間を見たことのない農村の小娘に何にが出來るものではない。

以來三十有餘年、農村に於ける自分の生家の問題は依然と自分の心にひツかゝつてゐる。一度、私の同情をそゝり立てた次兄も私に三味線を教へようとした次

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

兄の嫁もとうに墓の中にもぐつてしまつた。

が、家兄の悴が農民としてその父親の苦惱を倒れかゝつた大きな屋臺骨と共に引き繼いで、そして、今日に至るまで何のかのと私に煩ひをかけてゐる。

前號の反響

婦人と新社會第百十四號をお送り下さいまして濟みませんでした。國立公園に對する御高配、富士山の裾野に住んで居る者の立場から衷心御努力を感謝いたします。

お說を拜見いたしまして風致は自然のまゝ結構である道路交通宿泊所を設けることが最も緊要であるとの事柄至極同感であります。

尙ほ私は最寄の人が目前の利に走らず、外來者に對する親切心を切に望むものであります。

强力同志、自動車屋同志の見惜き客の爭奪、宿泊所と强力との結託、商品に對する暴利、自己本位の案內、等をなすことがありましたならば恐らく形式は何程整ひましても客の足は年々減つて來て遂には折角の公園も意義を爲さず無用の長物との誹りを免れはせぬかとの恐を懷きます。

明い感じのする氣分は道路、交通、宿泊所と相俟つて人と人との關係にあることを見逃すことは出來ません。

何の人を問はず人に對する親切は必要でありますが特に無知の人に對する眞の愛は特別にも痛感いたします。

私は、登山者に對し錢が取れるだけ取らなければ損だとの心のあらはれを耳にいたす時ほど嫌な感じがすることはありません。

國立公園完成の期の一日も早からんことを冀ふと同

時に外遊者に對する心の働き方を自分が外遊者の位置に立つた時の心持に於ふ親切心の建設が急務であると存じます。青年團員指導上小學校兒童養成上の立場から苦心いたして居りますので感じたまゝ申上げて御苦心の一端にても報ひたいと存じます。

九月五日

牧野　末男

山田　嘉吉殿

國本破壞の第一步

將棊の本當のさし方は知らないけれど、子供の時分にはよくはさみ將棊をして遊んだものだつた。敵手も頭を働かしてゐるのであるから、なか／＼こちらの思ふ通りには駒を進めることは出來ない。「敵手の此の駒が無ければ」と思ふのは度々であつた。其の駒を理不盡にも取り除けたい氣持ちがいら立つた。が、其の駒を理不盡に取り除けたのでは將棊の遊戯は成り立たない。

又、智慧の輪を遊ばうとする時にも必ず難解の障碍物につき當る。そして、「こいつを取り除けてしまへば」と云ふ氣持ちにかられる。が、それを取り除けてしまつたのでは智慧の輪ぢやない。

產兒制限の問題を考へる時はいつでも、私の頭に此の邪魔な將棊の駒と智慧の輪の障碍物が浮んで來る。

下層階級の家庭にあつては三人までの子供は養へるが其れ以上は養へないと定めて、市當局では、市立病院内に產兒制限の相談所を設け、慘めな細民の生活苦を救はうとしてゐるが、これは丁度邪魔な將棊の駒又は智慧の輪の障碍物を理不盡に取り除けて遊戯の基礎を破はすと同樣に、國の基礎たる人口を破壞するものであると私は考へる。

これに付て、白上助役は「優生學上の立場から極め

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

て必要なこと」と云つて居られるが、併し、優生學はまだ餘まりに若くて其の結論は當てにならない。もし子供の數は少ない方が善い人間が出來ると云ふのが本當なら、一人子は皆優秀な偉大な人物になる筈だが、事實は其の反對である。

何千年來の歷史は、人口増加が國家隆盛の兆であり、人口減退が國家衰亡の兆であることを證據立てゝゐる。にも拘らず、國の興亡に關する此の重大問題を生半可な社會改良家の意見に徴して決行することは危險千萬である。

要するに、產兒制限と云ふような問題は、單に、細民の範圍内にて解決しようとするのでなく、最も廣い大局から解決に近づかなければならない。

人口と云ふ國の基礎を破壞する前に爲すべきことは多々あると私は思ふものである。

智謀の輪の障碍物を敢へて取りのけるような愚を決行しないことを私は市當局に望んで止まない。

女醫 竹内茂代述

妊娠より分娩まで

定價二十錢

取次所 婦人と新社會社

（本誌臨時定價表）

一册	金十錢	送料五厘
六册	前金五十五錢	（送料共）
十二册	前金壹圓	（送料共）

昭和四年九月廿三日印刷納本
昭和四年十月一日發行

東京市四谷區南伊賀町四一
編輯兼發行人 山田嘉吉
東京市牛込區岩松町五四
印刷人 大杉直次郎
東京市四谷區南伊賀町四一
發行所 婦人と新社會社
振替東京五三六八八番